KITO

BUSINESS REPORT

第72期 事業レポート

2015年4月1日>2016年3月31日

証券コード：6409

株式会社 キトー

株主の皆様へ／トップメッセージ

特集

新中期経営計画（FY2016-2020）

連結業績ハイライトと2017年3月期業績予想

TOPICS：新製品「キトーロープホイストRY形」完成

定時株主総会のご報告

写真は、静岡県のうなぎ養殖場です。

代表取締役社長　鬼頭　芳雄

← 5月19日に実施の
決算・中期経営計画説明会の
模様を動画でご覧ください。

株主の皆様へ

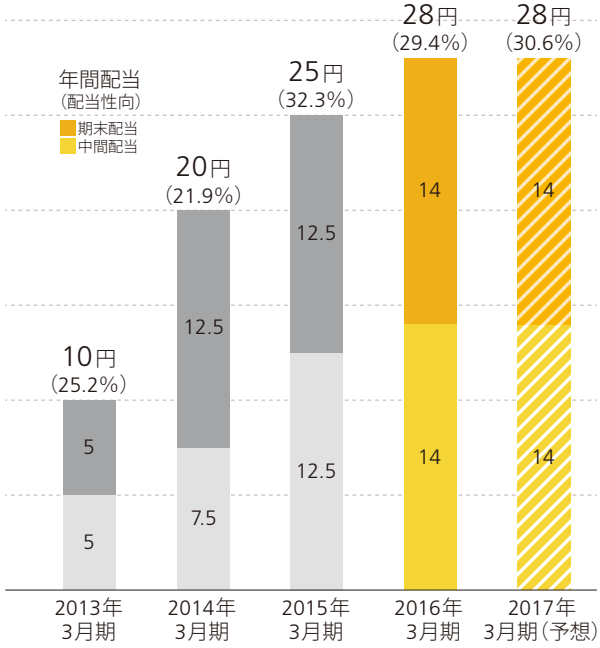
平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。終了した第72期（2016年3月期）は、前年比で増収増益となり、特に利益面で大きく改善いたしました。国内では民間設備投資の需要が継続し、年度を通じて業績が堅調に推移しました。米州では買収したピアレスが期初から通年で業績に寄与し、既存のホイスト事業においてもシェア拡大に成果がありました。アジアでは収益性改善に向けてタイの生産拠点の集約を進め、経済の減速が続く中国では、コスト削減策により高い利益水準を維持しています。

今年度より5か年の新中期経営計画がスタートいたしました。世界経済の見通し、市場環境、業界の統廃合の動きなど、不透明な状況が続くと予想されますが、キトーは既存事業の生産性と効率化を高めるとともに、製品・サービス分野の拡充により事業拡大をはかることで、利益とキャッシュフローの最大化を目指してまいります。すでに、サプライチェーン最適化に向けた海外生産拠点・在庫拠点の分散化や、日本、米国に、欧州、豪州を加えたチェーン製品のグローバル生産・開発体制の構築、新たに開発したワイヤロープホイストの国内市場への先行投入といった取り組みを行っております。

新中期経営計画の初年度です。さらなる成長フェーズに向けて、まずは経営基盤を強化してまいります。

配　当

株主の皆様への安定的かつ継続的な配当と、将来の事業展開を見据えた内部留保の充実を勘案して、配当性向20%以上を目処とし、当社が成長することで株主様への還元を増やせるように努力してまいります。2016年3月期の1株当たり年間配当金は28円とし、2017年3月期は同じく28円を予定しております。



特集　新中期経営計画（FY2016-2020）

あらゆる市場で最も信頼される巻上げ（反重力）機器メーカーを目指します。

5月18日、キトーは新しい中期経営計画を発表しました。2016年3月期をもって終了しました5か年の前中期経営計画では「真のグローバルNo.1ホイストメーカー」を目指すことをビジョンに掲げました。新中期経営計画ではさらに事業領域を拡大して「あらゆる市場で最も信頼される巻上げ（反重力）機器メーカーを目指す」ことを新たなビジョンに掲げます。重力という制約のなかで安全かつ効率よく作業を行うための機器を幅広く提供するメーカーを目指します。

新たなビジョンを実現させるため、3つの基本方針を掲げます。

基本方針

▶ 顧客満足度の向上

製品分野と製品品揃えを拡充するとともに、キトー製品の価値向上と差別化を図ります。ユーザートレーニングなどのサービスを充実させ、リードタイムを短縮し、お客様へのサービス向上に取り組みます。

▶ 組織運営の効率化

グローバルでのITインフラを整備し、グループ経営基盤を構築します。サプライチェーン最適化に向けて、日本、中国、米国、アジアの4生産拠点でのオペレーションの効率化、デリバリーの改善、在庫の圧縮を推進します。

▶ 人への投資

社員の意識改革と組織の風土改革をすすめ、魅力ある組織作りを目指します。ダイバーシティを深化させ、多様性の中でチームワークを発揮し、ビジネスリーダーを育成します。

新中期経営計画では、5か年で収益（EBITDA）の倍増を目指します。
事業からの利益とキャッシュの創出力の最大化を大きなテーマとします。

経営目標

1 高収益体質への回帰

・売上拡大による成長から、利益の成長へ方向転換します。
・利益を拡大し、株式市場から評価される会社を目指します。

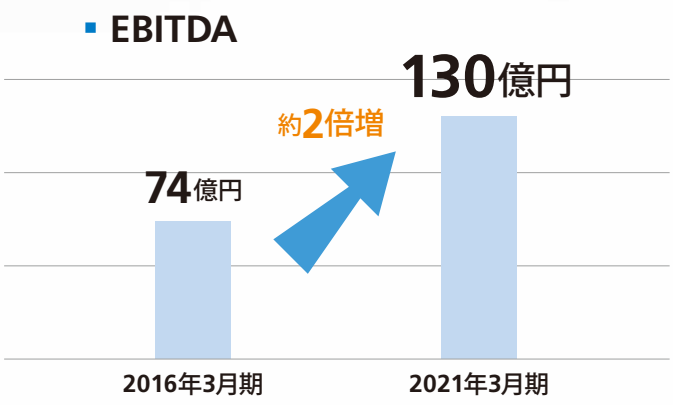
2 製品ポートフォリオ拡充による成長

・お客様に提供する製品の品揃えを拡大します。
・新しい分野に積極的にチャレンジして成長を実現します。

3 真のグローバル企業への組織進化

・日本が中心の組織ではなく、世界のキトーへと組織を進化し発展させます。

財務目標



EBITDAは償却前の営業利益のことで、減価償却費の影響を排除した、本業の儲ける力を表します。

経営戦略

グローバル事業基盤をもとに、製品・サービス分野の拡充に加え、
既存事業の生産性の向上と効率化を図ります。

戦略1 ▶ 製品・サービス分野の拡充

キトーオリジナルのワイヤロープホイストを開発。2016年4月の日本市場投入を皮切りに、今後はグローバル市場に展開していきます。チェーン及びつり具・アクセサリー関連機器をキトーの事業の2本目の柱とすべく、品揃えを充実させ、さらなる事業拡大と付加価値向上を目指します。

巻上機

従来の中核ビジネスである
チェーンブロック・レバーブロック

巻上機

ワイヤロープホイスト

周辺機器

チェーン・つり具・アクセサリー

戦略2 ▶ 生産性の向上と効率化

日本、米国、中国の主要な生産3拠点のオペレーションの効率化に引き続き取り組みます。また、チェーン生産においては、これまでの日本、米国に、欧州、豪州が新たに加わり、世界最大クラスの生産量を誇る体制を構築しました。今後は生産拠点を活用し、グローバル市場に向けて最適な供給体制を整備してまいります。

連結業績ハイライトと2017年3月期業績予想

2016年3月期は前期に比べ、11.7%の増収、営業利益で53.8%と大きく増益となりました。
2017年3月期は、既存事業の生産性と効率化を高めるとともに、製品・サービス分野を拡充してまいります。

売上高	営業利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2015年3月期	2015年3月期	2015年3月期
49,968百万円	**3,395百万円**	**2,026百万円**
▼	▼	▼
2016年3月期	2016年3月期	2016年3月期
55,821百万円	**5,221百万円**	**2,497百万円**
▼	▼	▼
2017年3月期（予想）	2017年3月期（予想）	2017年3月期（予想）
53,000百万円	**4,300百万円**	**2,400百万円**

キトーが独自に開発・設計した新製品「キトーロープホイストRY形」が完成しました！

新たな挑戦が、新たな価値を。

キトーはワイヤロープホイスト事業への本格参入を宣言してから、ワイヤロープホイストの拡販に注力してまいりました。そしてこのたび、さらにお客様のニーズを捉え、キトーの技術力を集結したキトーオリジナルのワイヤロープホイストを開発しました。「キトーロープホイストRY形」は、4月の日本市場投入を皮切りに、段階的に製品ラインアップと販売地域を拡大していきます。

ワイヤロープホイスト市場でのキトーの存在感を一気に高めるべく、製造・販売一体となって拡販に取り組んでまいります。

▲ RY形の開発・設計を手がけたプロジェクトメンバー。

80年にわたり培ってきた、独自の技術とノウハウを継承

キトーが80年にわたり、チェーンブロックで培ってきたブレーキやインバータ制御など、独自の技術とノウハウを継承した「キトーロープホイストRY形」。世界中のさまざまな現場の安全を第一に、あらゆるニーズに柔軟かつ効率的に応えます。また、日本市場では発売後1か月で、100台を超えるご注文をいただきました。市場での認知度を高めるべく、プロモーション活動にも力が入ります。

new **「キトーロープホイストRY形」特設ページUP！**

http://www.kito.com/jp/newproducts/ry/

“ワイヤロープホイスト”と“チェーンブロック”何が違うの？

荷物をワイヤロープで持ち上げる装置をワイヤロープホイスト、チェーンで持ち上げる装置をチェーンブロックといいます。製品本体の大きさや、巻き上げるスピードにも違いがあります。ワイヤロープをドラムに巻き取ることで荷物を吊り上げるワイヤロープホイストは、巻き取るロープが長いほど、ドラムが大きくなり製品本体も大型になります。一方チェーンブロックは、巻き上げたチェーンは外付けのバケットに溜めておくので製品本体の大きさは変わりませんが、巻き上げ速度は、一般的にワイヤロープホイストのほうが速いです。それぞれ一長一短ですが、3ﾄﾝ以上の荷物を高速で巻き上げるならワイヤロープホイスト。3ﾄﾝ未満の荷物や作業現場が狭い場所ではチェーンブロックが選ばれることが多いようです。

ワイヤロープホイスト

チェーンブロック

動画で見る株主総会、株主交流会

平成28年6月21日開催の株主総会、株主交流会には
多くの株主様にご出席いただきありがとうございました。
QRコードから動画で視聴いただけます。
ぜひ、ご覧ください。

株主総会　株主交流会

証券コード：6409
平成28年6月21日

第72回定時株主総会決議ご通知

株式会社 キトー
代表取締役社長　鬼頭　芳雄

当社第72回定時株主総会を開催し、下記のとおり報告並びに決議されました。

▶報告事項

1. 第72期（自平成27年4月1日　至平成28年3月31日）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
　本件は、上記事業報告の内容、連結計算書類の内容及びその監査結果を報告いたしました。

2. 第72期（自平成27年4月1日　至平成28年3月31日）計算書類報告の件
　本件は、上記計算書類の内容について報告いたしました。

▶決議事項

第１号議案　剰余金の配当の件
　本件は、原案どおり承認可決され、当期の業績並びに今後の事業展開等を勘案いたしまして、当期の期末配当は普通株式1株につき14円とさせていただきました。

第２号議案　定款一部変更の件
　本件は、原案どおり承認可決されました。変更の内容は以下のとおりであります。
　取締役の経営責任を更に明確にするため、取締役の任期を2年から1年に短縮するよう変更いたしました。

第３号議案　取締役7名選任の件
　本件は、原案どおり承認可決され、取締役に鬼頭 芳雄、Edward W. Hunter、宮脇 彰秀、譲原 経男、山田 和広、淡輪 敬三、中村 克己の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
　なお、山田 和広、淡輪 敬三、中村 克己の各氏は社外取締役であります。また、山田 和広、淡輪 敬三、中村 克己の各氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

第４号議案　退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件
　本件は、原案どおり承認可決され、退任取締役の遅澤 茂樹氏に対し、当社の「役員報酬等の額またはその算定方法に係る決定の方針」に従い、退職慰労金を贈呈することと決定いたしました。

第５号議案　ストック・オプションとして取締役（社外取締役を除く）及び執行役員に対して新株予約権を発行する件
　本件は、原案どおり承認可決され、当社の取締役（社外取締役を除く）及び執行役員に対し、ストック・オプションとして新株予約権を1,000個（新株予約権1個につき普通株式200株）を上限として発行すること、及び新株予約権の募集事項の決定を当社取締役会に委任することと決定いたしました。

以上

第72期　期末配当金のお支払いについて

　第72期期末配当金（1株当たり14円）は、同封の「第72期期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局（銀行代理業者）で払渡期間内（平成28年6月22日から平成28年7月29日まで）にお受け取りください。

　なお、振込先をご指定の方には、「第72期期末配当金計算書」及び「配当金のお振込先について」を同封いたしますので、ご確認くださいますようお願い申し上げます。（株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引の口座管理機関（証券会社）へお問い合わせください。）

株 主 メ モ

基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目４番1号 三井住友信託銀行株式会社
		株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目４番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先）　〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

（電話照会先）　0120-782-031

（インターネットホームページＵＲＬ）
http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式会社 キトー

本社工場
〒409-3853
山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000
TEL.055-275-7521

東京本社
〒163-0809
東京都新宿区西新宿2-4-1新宿NSビル9階
TEL.03-5908-0161